

6. 教員の養成に係る教育の質向上に係る取組み

6.1 KIT オナーズプログラム

KIT オナーズプログラムは「自ら考え行動する技術者」に向けて自ら目標を設定し、それを達成するために活動する自己目標達成プログラムで、「学科・課程・研究室に関するプログラム」「夢考房プロジェクトプログラム」「産学・地域連携教育研究プログラム」「教育支援センターに関するプログラム」「学友会に関するプログラム」の5種類がある。その中の一つで教職課程のオナーズプログラムとして、教師になることを目指している学生を対象に、授業だけでなく正課外での活動を通し、教員としての資質・能力・実践的指導力を身につけられるように「教師としての実践力向上プログラム」がある。

プログラム名	教師としての実践力向上プログラム
プログラム概要	<p>中学校や高等学校の教師になるためには、教職と担当する教科に関する専門知識と、それらを学校現場で活用する実践力が必要である。教師を希望する学生は、大学の4年間でそれらを身に付けなくてはならない。専門知識については、大学の授業で身に付けることができるが、実践力は課外活動の中で獲得していく必要がある。本プログラムは、教職課程履修学生を対象として、教師としての実践力を獲得させるための活動である。その活動では、まず参加学生が、教師になるためにはどのような実践力が必要で、それを身に付けるためにどのような活動をすべきかを考えることから始める。その後、具体的な活動として、学校ボランティアへの参加、学生による模擬授業の練習会、教員採用試験対策勉強会を実施する。その際、これらの活動を上位学年生が中心の学生主体で運営する。これにより、ピアサポートによる効果を図る。本プログラムにおいて参加学生が行った活動の振り返りを、教職ポートフォリオ内に登録させ、教師になることを目指した自律的な学習スタイルの獲得を目指す。これらの活動に対して、担当教員がアドバイザーとして運営に関わる。</p>
開催場所	教職支援室、もしくは空き教室
実施時期	通年 週1回（各回60～90分）5時限 もしくは6時限
スケジュール概要	<p>コロナ感染症流行の状況を考慮しつつ、下記の項目について活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 活動の中心は地域の公民館における教育活動と本学学園祭における地域の小学生を対象とした科学教室・プログラミング教室である。前学期は、それらの活動の企画を行う。企画の際には、教育活動のねらいの設定・教材の作成・指導方法の工夫について、参加学生どうしで議論することを重視する。 ● 前学期終了後は、地域公民館における科学実験教室を行う。この後に、その振り返りと改善をして本学学園祭における科学教室・プログラミング教室を実施する。これらの活動の全ては、学生が主体的に取り組むものとする。担当教員はアドバイザーとして関わっていくが、各活動の計画の決定は、上位学年が中心となり、参加学生が行う。これにより、学生が主体的に活動し成長していく雰囲気を醸成する。 <p>コロナ感染症流行の状況の回復が見込めない場合は、以下を活動内容として、教育に関する視野を広げることをねらいとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各教科（工業、情報、理科、数学）の任意の単元を題材とし、各メンバーが学習指導要領を考慮した単元計画を立案し、それぞれの計画案について議論する。 ● その単元計画に基づいて、任意の1コマの学習指導案・教材・板書計画などを作成し実践する。 ● 模擬授業の際には、授業検討会を行う。
外部機関連携	なし

活動例	<p>【令和4年度活動実績】</p> <p>①教職課程の学生間の意識向上を目的に、2023年2月8日に等身大接続システムによるオンライン接続にて北陸学院大学の教職課程で学ぶ学生17名と金沢工業大学の教職課程の学生15名が「不登校について」をテーマとしたディスカッションを行い、大学の垣根を超えた教職課程の学生間交流を行う事が出来た。</p> <p>②白山市立北辰中学校の自習支援として、定期テスト前の自習支援や運動会・文化祭の支援を行った。</p> <p>③愛里巣福祉会との連携企画「チェノキ」として、野々市市の児童クラブに在籍する児童に対して大学生が様々な体験を提供した。</p> <p>④学園祭「工大祭」にて、科学実験教室を開催し、実験ショーや体験活動を実施した。2日間で200名以上の来場者となり、盛況であった。</p> <p>※上記の活動②～③の詳細については次項の活動報告参照</p>
-----	---

6.2 教職支援室での活動

教師を目指す学生同士が気軽に交流できる場として「教職支援室」がある。教職・教育に関する資料や本を揃え、グループでの勉強会、教員採用試験対策などを行う。また、学校現場経験豊富な職員も配置し、模擬授業への助言・指導を行っている。

教師としての実践力向上プログラム 活動報告

・北辰中学校 自習支援

月に一度、北辰中学校へ出向いて学習支援などを行っています。定期テスト前の自習支援や運動会・文化祭のお手伝いを、先生や生徒と協力して活動しています。学生時代では体験できなかった「教師目線での運動会や文化祭」を経験することができます。また、大学の講義では学べない学校現場を、経験することができます。

・金沢工業大学-愛里巣福祉会連携企画 「チエノキ」

野々市市の児童クラブを運営している社会福祉法人愛里巣福祉会様と連携プロジェクト「チエノキ」を行っています。児童クラブに在籍する児童に対して大学生が様々な体験を提供しています。

4月は、児童を金沢工業大学に招待して大学案内を行いました。

5月は、音感を刺激するおもちゃ「どれみたっち」を体験しました。

6月は、錯視利用した「振り向きドラゴンの作成」を体験しました。

7月以降も、SDGs についての体験や化学実験、防災教室などを行う予定です。

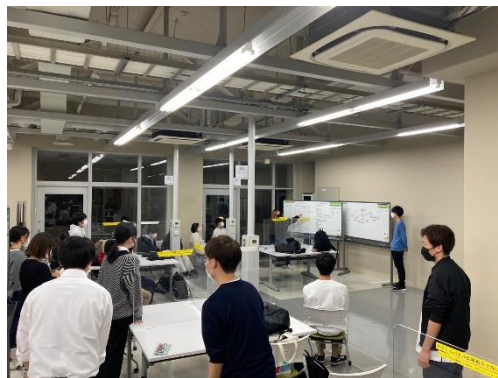
・工大祭

工大祭では、科学実験教室を開催しています。昨年度は、液体窒素の実験ショー、スライム作り体験、プログラミング教室、つかめる水作り体験の4つを開催しました。2日間で200人以上が来場し、屋内企画部門で第一位を受賞しました。

・普段の活動（毎週水曜日 5限目）

教師としての実践力向上プログラムは、毎週水曜日 5限目に23号館コラボレーションスタジオで活動しています。各学期の初めにプログラムメンバーで、教師としての実践力向上には何が必要かを考えます。その後、活動内容を決定する会議を行います。そのため、毎年違った活動を行います。企画は自己紹介やディベート、模擬授業など、学生が主体的に企画し実施しています。

普段の活動→





工大祭



「チェノキ」4月大学案内

「チェノキ」6月「振り向きドラゴン」



「チェノキ」5月どれみたち

